



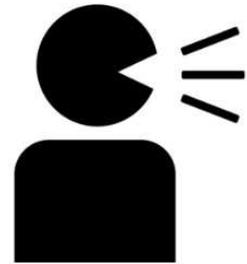
三本桜

第19号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
9月の目標：伝わるあいさつをしよう

目で見て分かりやすく、そして短く

話をするときに、聞いている人たちにどう分かりやすく伝えるか、飽きないようにするかは、話し手が考えておくべき大切なことです。私は式、月初め、長期休業前後といった節目や会合等で話をしますが、年間数十回の話をして、1～6年生までの子どもたちに興味をもたせて聞かせることは大変なことであり、そこにはやはり何らかの工夫が必要になってきます。



例えば、絵、写真など、目に見える具体物を活用します。家の近くで切ってきた竹を用いて、まっすぐにしなやかに生きることや節目の話、成長の話をしたことがあります。授業でも写真、動画、実物などを見たり触ったりすると、学習への関心、集中が高まるの言うまでもありません。目で見て分かりやすいものを見せることは、話す力を大きく補うこととなります。

あとはできる限り話を短くすることを心がけています。何となく漠然とした考えで話を始めると、話もいろいろな方向に向かってしまい、結果としてだらだらとした話になってしまいます。誰を相手に、何の話をするのかという相手意識、目的意識を持ち続けたいと思います。実りの秋とするため、職員一同、わかりやすく話す、伝えるを意識し、授業づくりに努めます。

福祉実践教室（3年生）

助け合うということ

3年生は、総合的な学習の時間に「福祉」に関する学習をしています。福祉は、「だんのらしのあわせ」と言われます。何を幸せと感じるのかは一人一人違うもので、誰もが「自分の幸せ」を願っています。だからこそ「自分以外の人の幸せ」も大切にすることが求められています。高取小学校では、さまざまな体験をしながら学習を進めています。今回、高浜市社会福祉協議会にご協力いただき、盲導犬ユーザーS様が盲導犬と一緒に生活する様子を学びました。S様が話の中でおっしゃっていたことは、生活環境を少し工夫すれば、生活がとてもしやすくなるということでした。そして、困っている様子がわかたら声をかけてほしいという内容でした。すべての人に対して生活環境が整っているとは言えません。「障害があるなしに関わらずすべての人がお互いに助け合うこと」を大切にしていきたいです。

